

# 組合 NEWS

Faculty and Staff Union of Kanazawa University  
金沢大学教職員組合執行委員会  
金沢市角間町  
Tel.076-262-6009 (FAX同じ) / 角間内線2105  
E-mail kanazawa@ku-union.org  
ホームページ http://www.ku-union.org/

2012年8月31日

通巻 1191号

## この号の内容

- 執行委員長挨拶 1P
- 書記長挨拶 2P
- 全大教定期大会の報告 3P
- 8/6 組合緊急集会報告 3P
- 地域イベント案内 4P  
(湯涌ぼんぼり祭り)

## 2012年度 執行委員、所信表明です。

2012年度  
執行委員長

大角 富康



よろしくお祈りします！

私たちの賃金は7月から平均7.8%引き下げられました。「復興財源に資するため」と称して。2009年、2010年と連続して賃金が引き下げられたのに続いて、さらに引き下げられました。年間にすると数十万円から百万円になります。この引き下げられた賃金は2014年に元に戻るのでしょうか。安住財務相は否定的な見解を示しています。

さらに、復興財源として所得税と住民税が上乘せして取られることが決まっています。8月7日には、国家公務員の退職手当を約14.9%（平均400万円）減額することが閣議決定されました。その上、消費税の増税が実施されることになりました。日々一所懸命に働いている私たちは何故こんな目に遭わなければならないのでしょうか。

賃金の引下げは働いている者にとってはもっとも関心のある労働条件の

不利益変更です。それは日々の生活を維持し改善するために、将来の備えのために絶対に必要だからです。その賃金がこんなにも引き下げられると労働意欲が減退するのに十分ではないでしょうか。

日々、評価と競争と多忙で神経をすり減らしストレスがたまっているところへこの仕打ちです。もうやっつけられないという叫びが鬱積しているのではないのでしょうか。この理不尽な事態に対する叫びを組合の力として結集し、賃金や他の労働条件の改善につながっていければいいと思っています。

組合の活動は執行部だけではできません。まして委員長一人では何もできません。皆さんの協力が必要です。働く者の矜持にかけて、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」組合に結集して頑張りましょう。

各支部、分会の  
代議員の参加を  
お願い致します。

## 第69回定期大会のご案内

2012年10月26日(金) 18:00～  
自然科学5号館(旧理学部) 2階大講義室



オブザーバー参加も大歓迎です。  
組合事務所までご連絡ください。

お弁当出ます！

2012年度  
書記長

# 杉山 欣也



今年度、書記長を務めます杉山と申します。三島由紀夫を中心とした日本近代文学を研究いたしております。どうぞよろしくお願いいたします。

2009年に本学に赴任した際、金沢大学の予算規模は小松市のそれと同程度とうかがいでしたが、山のなかに点在している校舎を見ると、ここはひとつの村だよな、という気持ちになるときがあります。それは、「角間の里」という施設があり、能登の里山里海保全に力を入れている本学の特色による印象かもしれません。かつて学生だったときに、城内キャンパスで和気あいあいとした学生生活を送った記憶があるからかもしれません。

しかし、数年間働いてみて、どうも現在の本学が「村」という言葉から連想される共同体の絆には遠い場所であるという印象も受けるようになりました。残念なことに、この村を結びつける絆は、「改革」という名のリストラを通じて寸断されてしまったようです。数年来の人事院勧告にともなう給与削減では、その一方的な通告や余剰交付金の使途などをめぐって、多くの教職員が大学当局に不信感をいだいているように見えます。また、震災復興特例による平均

7.8%もの給与削減では、果たして本当にそのお金が震災復興に有効活用されるのか、本当に二年後には給与が元に戻るのかといった点で、あきらめと不安の感情が渦巻いているように感じます。

さらに、新たな人事院勧告にともなう55歳以上の昇給停止、閣議決定された退職金の削減を通じて、私たちがこれまで築き上げてきた職業人・大学人としての誇りのようなものは、あっけなく踏みにじられてしまいそうです。

私は、その「絆」とは、私たち自身の「誇り」の結びつきのことではないかと思っています。自分たちの仕事に高い誇りを持ち、それを大学全体で共有しえたとき、私たちはこの「村」を再構築できるはずです。まだ手遅れではないと私は思っています。そのための大切な場が、この教職員組合であるとも思っています。微力ではありますが努力する所存です。お力添えをお願いいたします。

どこかに美しい人と人との力はないか  
同じ時代をともに生きる  
したしさとおかしさとそうして怒りが  
鋭い力となって たちあられる  
(茨木のり子「六月」より)

組員 各位

2012年7月20日

金沢大学教職員組合  
選挙管理委員長 太田 明雄

公示

2012年度金沢大学教職員組合役員選挙の開票が、7月19日(木)午後5時30分より行われ、右の通り候補者全員が信任されましたのでお知らせ致します。得票率は62.8%でした。

執行委員長(1名)	大角 富康	工学部分会 (機械工学系)	教員系
副委員長(1名)	岩 崎 宏	理学部分会 (数物科学系)	教員系
書記長(1名)	杉山 欣也	角間北支部 (歴史言語文化学系)	教員系
書記次長(1名)	松田 洋介	角間北支部 (学校教育系)	教員系
会計委員(1名)	佐藤 文彦	角間北支部 (歴史言語文化学系)	教員系
執行委員(若干名)	池田 良枝	医学系四分会 (附属病院)	医療系
々	大林 正朗	医学系四分会 (医学系)	技術系
々	神谷みつ江	附属学校園支部 (特別支援学校)	教員系
々	酒井 利昌	工学部分会 (自然システム学系)	技術系
々	南 相璽	角間北支部 (経済学経営学系)	教員系
々	松本 豊司	工学部分会 (総合メディア基盤センター)	教員系
々	山本 卓	角間北支部 (学校教育系)	教員系
監査委員(3名)	数見由紀子	角間北支部 (外国語教育研究センター)	教員系
々	齋藤 大明	理学部分会 (数物科学系)	教員系
々	清水 邦彦	角間北支部 (人間科学系)	教員系

# 全大教定期大会に参加して

7月14(土)、15日(日)の二日間、全国から代表者が集まり、東京で全大教の定期大会が開催されました。

本組合を代表して、清水が参加しました。私に対し、かなり前に参加の打診があった際には、年次報告等のシャンシャン総会と思ひ、参加を応諾したのですが、本学を含め、7月1日に賃下げが強行された大学が多数、というタイムリーな状況ゆえ、少々殺気だった大会となりました。

この紙面で報告しなければならないのは、今回の賃下げに対する全大教の対応及び各単組の対応でしょう。

全大教は政府（総理大臣、文部科学大臣）に対し、労使交渉を申し入れましたが、拒絶され、現在、中央労働委員会に不当労働行為救済の申し立てをしているところです。

仮に賃下げに対し、裁判を起こすとしたら（以下、裁判の話は仮の話）、原告は全大教ではなく、労働者個人から成る原告団となります。裁判に際し、全大教ができることは、各組合を通じて原告団を支援することです。全大教は、平均7.8%賃下げ

という未曾有の事態に対し、闘争支援救援特別会計（7,500万円）等、裁判費用の半分以上を裁判を起こした単組に対し支援することを提案、了承されました。ただ、裁判費用の全額ということが確約されなかったためか、どこの単組も「お宅はどうしますか」状態であったように感じました。



とはいっても労使交渉の結果、給与削減額が引き下げられた組合の報告などもあり（なぜ本学は7.8%に固執するのだろうか、トップテンを目指す大学なのに・・・）、今後も各組合が粘り強く交渉を続けると共に、全大教や組合間で密に連絡を取り、共同戦線を張ることを全会一致で確認しました。（2011年度書記長 清水邦彦）

（2011年度書記長 清水邦彦）

## 8 / 6 組合緊急集会 報告

7月1日に実施されてしまった給与引き下げに関し、8月6日昼休み、メディア基盤センターに於いて、説明会を行った。告知期間は短かったが、20名程度の組合員が出席してくれた。

説明のポイントは、①月給のみならず、ボーナスはそれ以上に引き下げられること、②生涯賃金への影響は無論のこと、退職後の年金受取額にも影響すること、③他大学では給与減額率の圧縮を行ったところもあるが、本学では行わなかったこと、の3点である。

出席者から「運営費交付金削減の折り、大学側に経営努力を求めた場合、例えば非正規雇用の方の首が危ないのでは」という

もっともな質問が出された。この点を含めた労働条件の問題に関しては、労使交渉の際に大学側に確認しており、大学側の回答は、「今回予定している3億円の支出削減という経営努力の結果、労働条件が悪化するかどうかは分からない」という無責任なものであった。



その他、裁判を含めた、本件に関する今後の労働運動の方針に関し、忌憚なく意見を交換した。

（2011年度書記長 清水邦彦）

## 地域イベント紹介

# 湯涌ぼんぼり祭り

湯涌ぼんぼり祭りをご存じでしょうか。毎年10月（神無月）に出雲へ赴く子供のため神様のために地元の人々がぼんぼりで道を示し、そのお札に書いた願い事を叶えてもらえるというのですが、・・・実はこのお祭りは去年始まったばかりです。富山県南砺市城端にあるアニメ会社（ピーエーワークス）の製作による、湯涌をモデルとした温泉街を舞台としたアニメ「花咲くいろは」の中に登場した架空のお祭りが、地元観光協会を中心に実現されたのです。昨年は5000人が小さな温泉街につめかけ、地元の古老が「湯涌が片町か香林坊になった」と言うほどの盛況ぶりでした（写真1）。

金沢大学もこの祭りに無関係ではありません。この制作会社（最近では北陸銀行のCMで絵を担当）は、自社の別のアニメ（「Angel Beats!」）で架空の学校の校舎のモデルとして角間キャンパスの建物を多く使用し、その関係から今年の祭りには大学駐車場を提供していました。特別直通バスが大学ー湯涌間を往復し、駐車場は痛車（アニメ・ゲームの絵が描かれた痛々しい車）であふれかえりました（写真2）。そして、今年の大学祭では制作会社の専務さんや研究者を招いてアニメと地域をテーマとした講演会・パネルディスカッションも開催されました。

今年も湯涌ぼんぼり祭りが10月6日（土）に開催されます。祭りに先立って7月22日に行われた湯涌稻荷神社ぼんぼり点灯式には、「花咲くいろは」劇場版アニメの公開も決定したことから1,000人以上の人が集まりました。

これだけ聞けば、アニメのイベントのような祭りなど興味がないと思われるかもしれませんが、しかし去年の祭りにも、アニメとは関係のない観光客の方など多くの一般の人々も参加され、家族の健康や病気の治癒を願うお札が多く奉納されていました。もちろん、この祭りが観光のための急造物であることは否定できません。実際、祭りの中心のぼんぼりでさえ城端からの借りものでした。しかし「お祭り」はもう多くの人々をまきこんで始まりました。アニメファンが何年間この祭りを支えてくれるかは分かりませんが、始まりは何であろうと、結局この祭りを支えていくのはこの地域の人達です。石川・富山地域には七尾青柏祭や高岡御車山祭、城端曳山祭、福野・津沢等での夜高祭など素晴らしい祭りが沢山ありますが、新しい祭りの創造に立ち会うことはそうはないことです。みなさんも金沢大学に縁浅からぬこの新しいお祭りを見に行きませんか。（K）

写真1



写真2

